

## 代表質問を始めるまで

袋井市議会では、平成24年度～平成26年度に議会改革特別委員会を設置して議会改革に取り組んできました。そのなかで、議会や議員が果たすべき役割を適切に担うことで「市民福祉の増進」に寄与することを目的に、市議会の基本的事項を定めた規範となる議会基本条例を制定し、平成27年4月から施行しています。

この条例において、議員は市長等に対して、会派を代表して質問を行うことができると定めており、この規定に基づき代表質問を行うものです。

## 緑風会

伊藤 謙一 議員

### SDGsと持続可能な

### まちづくり

**問** SDGsに関連した今後の本市の施策を伺う。

**答** 第2次総合計画後期基本計画・第2期総合戦略の策定を進める中で、SDGsの目標と総合計画内の施策との関連性を整理していく。また、令和2年度の予算編成は、健康意識の向上や質の高い教育、地球環境の保全に向けた取り組みなど、SDGsを包含した内容となっている。

※SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは「持続可能な開発目標の略称です。2015年9月の国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。」

**問** 日本の環境施策に世界から厳しい評価が下された。企業や市民と今以上の環境施策に取り組むべきでは。

**答** 市民に対して、出前エコ教室、アースキッズ事業、エコフェスタを通じて環境教育を推進し、企業に対しては、環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証

支援を行い、省エネルギー、再生可能エネルギー、バイオマス発電の推進などを図っていききたい。

**問** 持続可能な社会を築く手段として、ローカル5Gを導入すべきでは。

**答** 本市がローカル5G通信環境を整えたワークスペースを整備し、企業が当該スペースを利用したテレワークを実施するなど、多様な利用に向けた実証事業の実施などを検討している。

### 農業施策に関して

**問** 茶業振興に関して、来年度の本市の施策は。

**答** 現在、遠州中央農業振興連絡会議において短期・中期・長期それぞれの視点からの対策を検討しており、年内に連絡会議としての方向性を出していきたい。市では、短期的な対策として、次年度に向けて、新たにGAP認証更新、あるいは機械設備の大規模修繕に対する支援についての検討を現在行っている。

### 女性の活躍推進

**問** 待機児童がいる家庭に対して支援を検討できないか。

**答** 待機児童がいる家庭には、保育所等の空き状況のお知らせ、認証保育所の案内、公立幼稚園の預かり保育等の説明をするなど、保護者の働き方に応じた保育が受けられるよう随時案内している。

### その他の質問項目

- ・ 減災の取り組み
- ・ 市南部旧浅羽地域の取り組み



アースキッズ事業（山名小学校）